

輸送動向について(平成21年度上半期)

平成21年10月

1. 輸送概況

上期は、「7月中国・九州北部豪雨」をはじめとした大雨による輸送障害が全国各地で発生したほか、人身事故等の多発により高速貨357本、専貨2本が運休した。さらに、人身事故の多発による輸送障害の影響を受け、多くの貨物列車に遅れが生じた。

荷動きについては、昨年秋口以降の世界同時不況の影響を受け、製造業各段階において減産体制が継続したほか、景気低迷による消費の急激な落ち込みもあり、上期コンテナ輸送量が過去最高を記録した昨年と比較して、年度初より極めて低調に推移した。

コンテナ貨物は、自動車部品、紙・パルプ、化学工業品、化学薬品、農産品・青果物などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比84.9%となった。自動車部品、紙・パルプ、化学工業品などは、需要低迷に伴う販売不振及び在庫調整に向けた減産体制の継続により、大きく減送となった。また、農産品・青果物は飼料用政府米の販売低迷が継続したことにより、減送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比92.8%となった。石油は、揮発油が昨年の価格高騰に伴い消費が大幅に減少した反動及び高速道路通行料金のETC割引の拡大に伴う長期連休期間の需要の拡大により前年を上回った。しかしながら、その他油種が燃料転換及び生産活動の低迷を受け減送となり、全体では前年を大きく下回った。また、セメント・石灰石は工場の減産により減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

扱別	種別	上半期計		
		本年実績	前年実績	前年比
コンテナ		9,806	11,555	84.9%
車扱		4,677	5,038	92.8%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	874	1,018	-144	85.9%
	化学工業品	938	1,105	-167	84.9%
	化学薬品	701	823	-122	85.2%
	食料工業品	1,653	1,743	-90	94.8%
	紙・パルプ	1,511	1,910	-399	79.1%
	他工業品	708	896	-188	79.0%
	積合せ貨物	1,094	1,211	-117	90.3%
	自動車部品	303	438	-135	69.2%
	家電・情報機器	196	213	-17	92.0%
	エコ関連物資	169	185	-16	91.4%
	その他	1,659	2,016	-357	82.3%
	コンテナ計	9,806	11,555	-1,749	84.9%
	車扱	石油	2,969	3,171	-202
セメント・石灰石		650	740	-90	87.9%
車両		464	502	-38	92.4%
その他		605	625	-20	96.8%
車扱計		4,677	5,038	-361	92.8%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)